

## 平成30年度当初予算 危機管理監室主要施策の概要

### ◎予算編成のポイント

- ・ 東日本大震災などを踏まえ、自助・共助からなる地域防災力を高めるため、県民一斉防災訓練や消防団の充実・強化を図るほか、火山防災対策の推進など防災対策の充実・強化に取り組む。
- ・ 原子力防災対策については、原子力防災計画に基づき、要配慮者の屋内退避施設の整備や防災資機材の計画的な整備など、原子力防災体制の強化に取り組む。

### ◎重点主要施策の概要

- 県内の不特定多数の方が、地震発生時に、その場において一斉に安全行動をとる、「県民一斉防災訓練（シェイクアウトいしかわ）」を行うなど、県民一人ひとりの災害対応能力と防災意識の更なる向上を図る。
- 活火山である白山において、登山者の安全を確保するため、登山届の提出促進に向けた周知啓発やスマートフォンによる登山届の運用を行うほか、火山防災訓練を実施するなど、火山防災対策の着実な推進を図る。
- 住民の安全・安心を守る地域防災の要である消防団の充実・強化について、救助資機材・安全装備品等の整備への支援とともに、団員確保に向けたキャンペーンなどの取り組みを展開する。
- 原子力防災対策として、要配慮者の屋内退避施設を整備するほか、30km圏内の市町等において、防災資機材等の計画的な整備を行うなど、原子力防災体制の強化を図る。

平成30年度当初予算 危機管理監室主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災対策の充実強化</li> <li>(1) 災害に強いまちづくり・地域づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災総合訓練費</li> <li>・ 災害危機管理アドバイザー設置費</li> <li>・ 県民一斉防災訓練費(シェイクアウトいしかわ)</li> <li>・ 市町災害対応力強化費</li> <li>・ 総合防災情報システム等管理運営費</li> <li>・ 白山火山防災対策費</li> <li>・ いしかわの消防団充実強化費</li> <li>・ 消防防災施設等整備費</li> <li>・ 航空消防防災体制運営費</li> </ul> </li> <li>(2) 原子力防災体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要配慮者屋内退避施設整備費(2月1次補正)</li> <li>・ 原子力防災対策費</li> <li>・ 原子力安全対策費</li> </ul> </li> </ul>	<p>1,665</p> <p>670</p> <p>1,400</p> <p>500</p> <p>195,950</p> <p>5,000</p> <p>5,320</p> <p>3,100</p> <p>173,843</p> <p>299,000</p> <p>156,501</p> <p>222,754</p>	<p>防災総合訓練の実施(宝達志水町内) 大規模災害を想定し防災関係機関と地域住民等が一体となった訓練</p> <p>災害発生時の対応や平素の危機管理への専門的助言など</p> <p>県民がその場において一斉に安全行動をとる「県民一斉防災訓練(シェイクアウトいしかわ)」の実施 実施日時:平成30年7月11日(水)11時(予定)</p> <p>避難勧告発令等の災害対応力の強化を図る研修会の開催</p> <p>総合防災情報システム管理 107,352 千円 防災行政無線(地上系・衛星系)等管理 88,598 千円</p> <p>登山届の提出促進に向けた周知啓発、スマートフォンによる登山届の運用、火山防災訓練の実施など</p> <p>装備の充実 5,000 千円 救助資機材・安全装備品等の整備に対する助成 団員の確保等 320 千円 一斉広報キャンペーンの展開等</p> <p>小型動力ポンプ・救急資機材整備等に対する助成</p> <p>消防防災ヘリコプター「はくさん」の運航 運航費等 154,225 千円 点検整備費 19,618 千円</p> <p>放射線防護施設の整備 296,000 千円 資機材、物資の備蓄 3,000 千円</p> <p>防災対策の強化 防災用資機材の整備 原子力防災訓練の実施 緊急時連絡網管理等</p> <p>環境放射線監視機器の整備 29,377 千円 緊急時放射線モニタリング機器の整備等 28,552 千円 環境放射線監視業務 159,825 千円 原子力環境安全管理協議会の運営 5,000 千円</p>